

6
vol.160

広報 縄文村だより vol.160 (6月号)

Jomon Times



令和元年6月1日
●編集・発行●
奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL 88-3927 FAX 88-3928



縄文体験。 体感 WEEK!

史上最長の10連休だった今年のゴールデンウィーク。縄文村も「縄文体験・体感 WEEK!」と銘打ったイベントを開催! 7日間行ったイベントで、1,500人の方にご来館いただき、さらに縄文体験はのべ1,800人にのびりました。



こどもの日無料 DAY、 延べ900人が体験する!

GW終盤、こどもの日は絶好の行楽日和! 朝から多くの家族連れでにぎわい、テントの中は満員に! 一時順番待ちの列が出来たほど! 家族みんなに応援されながらの火おこし、お父さん、お母さんのほうが夢中!? なシカ角ストラップや勾玉。家族みんなで縄文村を満喫した様子でした。



「今年の干支」効果!? 「イノシシ土鈴」が人気に!

毎年ゴールデンウィークにのみ登場する「イノシシの土鈴作り」。今年の干支とあって、例年よりも人気に! 空洞にした胴体に、鈴となる粘土の玉を入れ、足や鼻をつけイノシシの形にしていきます。「なんだか自分に似てきた!?!」と皆さん楽しそう! 期間中30体の個性的でかわいいイノシシが誕生しました。



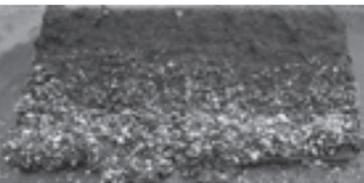
380人が縄文人に大変身!

縄文村オリジナルの服を身につけ、縄文人になりきる「写真館」。無料 DAY は竪穴住居前で、30日・3日は特設のスタジオ(?)で撮影会!

写真を加工し、縄文時代の森や家をイメージした背景にしてお渡ししました。写真の仕上がりに家族みんなで大笑い! 「記念の一枚になりました!」とご好評をいただきました。



採取してきた貝塚の土の分析はこれからです。当時の自然環境や本市最古の縄文人の暮らしを知る手がかりを得ることができました。



餅田貝塚の断面剥ぎ取り

発掘日記・餅田貝塚の発掘
先日、市指定の遺跡・餅田貝塚の発掘調査をおこないました。大塩丘陵の北側にある縄文時代早期末から前期の初めにかけての貝塚です。約7千年前のもので推定され、宮戸の里浜貝塚や室浜貝塚とともに、東松島市では最も古い縄文時代のムラの跡です。
標高205~10mの丘陵上に立地し、遺跡の面積は東西70m、南北100mと推定されています。これまで、詳しい調査がおこなわれたことはありませんが、畑や道路脇の断面に貝殻の分布が認められ、アサリを主体とした貝塚であることがわかっていました。
遺跡は、石巻市蛇田と鹿島台を結ぶ県道沿いで、海岸線からは80mも離れた位置にあります。現在、遺跡の北側は南郷、鹿島台にかけて一面に水田が広がっていますが、7千年前には遠浅の海が広がっていたと考えられます。大塩丘陵の北側では、餅田以外にも平田原貝塚や小分木貝塚が分布しており、このあたりは、当時、海産資源に恵まれた地域だったことがうかがえます。
今回の発掘は、道路の法面工事に伴うもので、ごく狭い範囲の調査でしたが、アサリを主体に、ハマグリやカキを含む貝層が約1mの厚さで堆積していることが判明しました。

【文化財班移転のお知らせ】
5月7日より、生涯学習課文化財班が移転しました。
【場所】奥松島縄文村歴史資料館 交流館1階
【電話】0225-88-2292
・特別名勝「松島」現状変更手続き
・埋蔵文化財に関する手続き などの業務を行います。

【縄文教室(全3回)参加者募集】
ことしの夏、「縄文」をきわめてみませんか? 現代の縄文人を募集します!
① 7/21(日) 縄文土器作り
② 8/18(日) 野焼き
③ 9/23(月) 縄文料理
【参加費】
中学生以上 2,000円
小学生 1,500円

もっと知りタイ! 地域おこし協力隊 (第26回)

■問 地域おこし協力隊事務局 復興政策課地域振興班 ☎内線1232



観光振興

ちば こうへい
千葉耕平さん(24)

市民を巻き込んだ観光戦略

私は大曲出身で、石巻高校を経て関西方面の大学に進み、東京で働き始めました。日増しに「地元のために仕事をしたい」という気持ちが強くなる中、知人から地域おこし協力隊制度について紹介され、平成30年11月1日から隊員として活動を始めました。現在は市観光物産協会に所属しながら、宮戸地区を中心とした観光振興の発展に寄与しようとして取り組んでいます。

観光分野に携わるのは初めてですが、人生初の大高森に登り、山頂から見た景色は、とても感動的で、この素晴らしい景色を「地元の人しか知らないのはもったいない」「より多くの人たちに知ってほしい」という思いが強く湧き、活動に一層力が入るようになりました。

隊員に就任してから5月で半年が経過し、現在は物産協会での窓口業務や観光イベント企画、エコツアーリズムなどにも携わっています。オルレイイベントなどでは、市内外のお客様と交流を図り、地域の歴史なども紹介しています。

宮戸地区に軸を置いた観光のあり方はもちろん、市内全域を対象に捉えることも大切です。各地区にはその場所に暮らす方々だけが知っている穴場スポットや美味しいお店など隠れた観光資源があり、地域の歴史や思い出を振り返ってもらうことで、ガイドさんの人生も見えるコンテンツになると考えます。

任期は残り2年半。市民と観光の距離をもっと近づけることが任期間中の目標です。観光に市民の声を加えることで魅力の底上げを図り、観光客と市民のふれあいから人と人の縁も広がります。ぜひ声をかけていただき、市の魅力について語り合いたいです。